

# 災害時の備え あなたは大丈夫！？

## ～誰も知らない 被災地のトイレ事情～

近年、大雨・暴風雨・大地震等々が日本のあちこちで起きています。ここ鎌倉は、山・海・観光地を抱える地域特性があります。地震・津波・がけ崩れ・川の氾濫等々、鎌倉の各地でも避難訓練が行われています。自宅避難生活・避難所生活、そこには家族・地域住民・観光客・外国人等々、多世代(乳幼児から高齢者)の方々が避難します。衣食住の確保・提供・倒壊した建物の片づけもさることながら、排泄も重要な問題です。水道が止まった際に生じるトイレ事情。簡易トイレの安全性等々、衛生面や感染症問題を含めて、災害時に備えて知っておかねばならないことが多々あります。そこで、今回は、泌尿器科医師であり防災士という立場で、多数の被災地に乗り込み、支援活動をされている長谷川太郎先生をお招きし、被災地のトイレ事情についてお話を伺います。



日時 令和6年9月30日(月) 13:15～15:00

(開場・受付 13:00～)

場所 鎌倉市福祉センター 第1・第2会議室

講師 湘南おおひなクリニック

院長 長谷川 太郎氏(かまくら防災士ネット会員)

対象 鎌倉市在住・在勤で介護に関心のある方

**申し込み** 地域包括支援センター鎌倉静養館

**0467 (23) 9110**